

きずな

NO. 173 2016- 6

こんにちは **日本共産党** 中村れい子 市政報告です



発行：日本共産党高槻市議会議員団 市議会議員・中村れい子 事務所／☎569-1114 高槻市別所中の町3-7 ☎681-8480 自宅／古首部町2丁目15-8-606 ☎685-6686

高槻東道路の工事でも事故が起きている

大阪府が工事をしている高槻東道路で昨年10月と11月に事故が起きました

鉄筋が倒壊し市道をふさぐ

10月22日の事故は、萩の庄の西国街道と名神高速道路の山側側道を連絡する市道で、橋梁下部工の鉄筋を組み立て中に鉄筋が倒壊し

たため、緊急に市道を通行止めになりました。すぐに撤去され、通行止めは解除されました。

クレーンが倒れ、負傷者が

11月6日は安満御所の町の磐手橋近くでクレーンが松尾川側に倒れ、作業員1人が肋骨4本を骨折するけがを

負いました。クレーンを固定するアウトリガーが出ていなかったことが原因でした。

相次ぐ 新名神高速道路での事故

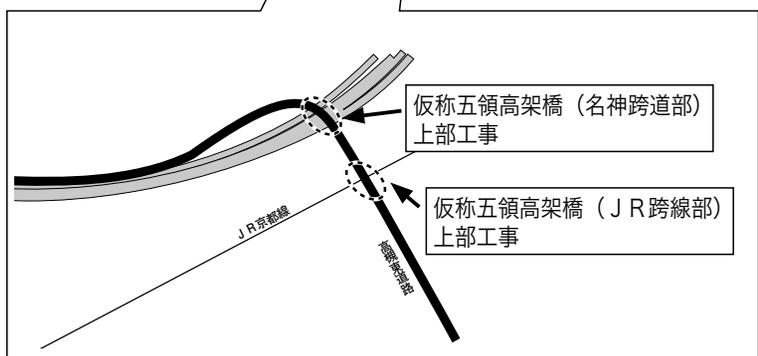
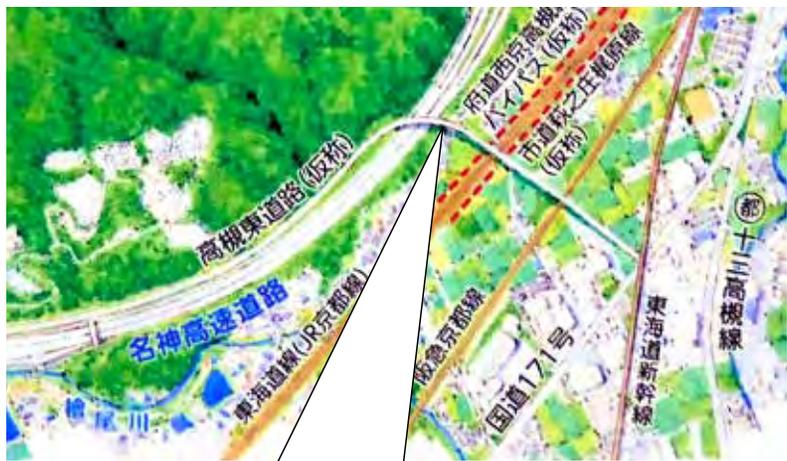
新名神高速道路の工事中に、4月22日神戸市北区で、鋼鉄製橋桁（長さ約120メートル、重さ約1350トン）が、約15メートル下の国道176号に落下し、橋桁の下敷きになるなどして男性作業員2人が死亡、8人が重軽傷を負いました。「橋桁の西側を支えていた土台が、事故前に約18センチずれてい

た」と工事関係者が証言しています。地盤沈下などの影響で土台のずれが生じ、橋桁がバランスを崩した可能性があります。また、箕面市では橋桁を仮置きする支柱（ベント設備）が倒れる事故が起きました。設現場で、相次いで起きた事故の影響と原因究明が長期化しています。大阪府には、ネクスクからの説明はまだありません。見直し作業を進めていきます。

高槻東道路がJR東海道線の上を渡す工事がはじまる

高槻東道路を名神高速道路の上を渡す工事が6月6日から10日の夜間、名神を通行止めにする集中工事期間に合わせて行われます。

JR東海道線の上は6月11日から14日の夜間、電車が通らない1時間ほどの時間帯に行われます。その工事はJR関係の企業が請け負います。神戸で橋桁を落下させた事業者と同じ事業者です。事故の原因も究明できていない状況で、工事をして大丈夫なのか、心配なので宮原たけし府会議員と、現地で大阪府から説明を受けました。



大阪府が都市計画道路の見直し検討 牧野高槻線 高槻市は廃止の方針

都市計画道路が決定 した。今年1月に高槻
され47年が経過し、未 市の見直し案が公表さ
整備の道路が4割残さ れました。牧野高槻線
れています。大阪府が については、2011
2011年に都市計画 年の大阪府の素案では
道路見直しの基本方針 存続でした。
を決定し検討してきま したが、高槻市は弥
生ヶ丘から前島の十三
高槻線までは新名神高
速道路のアクセス道路
の機能を有するが、伏
見柳谷高槻線で代替え
可能と判断し廃止の方
針を決定、十三高槻線
から枚方市までにつ
いては存続し幅員の
変更をするとしてしまし
た。大阪府の見直しは
2018年度以降にな
る予定です。

市営バス敬老パス制度のアンケートで 効果が検証されました

昨年実施されたアンケ
ー ト調査の結果が、今年3月
に速報値が出されました。
5月にはクロス集計し、詳
しく分析され、敬老パスが
利用されることによつてど
んな効果があるのか掲載さ
れた結果が発表されまし
た。
外出の増加は週1.3日分あ
り、歩行数は1日で869
歩増えています。経済効果
は年間32億円です。敬老パ
スを利用して外出した時の
使う金額は平均で3080
円でした。また、環境への
効果は年間806トンの二
酸化炭素を減らしていま
す。高槻市の1人当たりの
排出量が4.85トンで、約
166人分の排出量になり
ます。また、杉の木1本が
吸収する二酸化炭素は14
キロなので、杉の木57,
571本分になります。
健康面や経済的にも、環
境面でも敬老パスの効果が
実証されました。

市バス高齢者無料乗車証制度アンケート結果より

●経済効果

経済効果については、「直接効果」「第一次間接波及効果」「第
二次間接波及効果」とそれらを合計した「総合効果」がある。
今回の経済効果の算出にあたっては、「直接効果」、すなわち、
新たに発生した消費によって、その需要増加分について試算し
たものである。
したがって、無料乗車証を利用することにより、外出機会が
発生し、消費需要が増加するという直接効果として算出する。

無料乗車証を利用することによる経済効果 (直接効果) = 32 億円/年

●二酸化炭素削減量の計算

二酸化炭素削減量 = (無料乗車証利用者数) ×
(無料乗車証の制度がなかった場合に自
動車利用に転換する割合) × (無料乗車
証平均利用日数) × 2 (往復) × 52 週
×
(自動車と公共交通機関の CO2 排出量
の差)
二酸化炭素削減量 = 49,216 人 × 21.5% × 1.98 日/週 × 2 ×
52 週 ×
(自動車 1.98- 公共交通 1.61)
(kg-CO2 / 回) = 806 トン -CO2 / 年

無料乗車証制度による環境負荷低減効果 = 806 トン -CO2 / 年

●健康増進効果

健康増進効果は、無料乗車証を利用することにより、自宅からバ
ス停・鉄道駅まで歩くこと、到着バス停・鉄道駅から目的地・目的
施設まで歩くこと、さらに、まちなかでの回遊時間が増えること
による歩行時間の拡大などから歩行数の増分として算出する。

無料乗車証の利用の有無による1日平均歩行数の平均値 (年齢別)

(単位: 歩/日)

	利用している	利用していない	増分
全体	3,862.26	2,993.64	868.61
70～74歳	4,327.36	3,965.46	361.90
75～79歳	3,907.08	2,987.95	919.13
80～84歳	3,328.35	2,372.45	955.90
85～89歳	2,748.56	1,590.91	1,157.65
90歳以上	2,455.36	1,205.13	1,250.23

無料乗車証を利用することによる歩行数の増分 = 869 歩/日

市会議員

中村れい子

市政相談日は

毎月、第2土曜日です

事前に必ず連絡を
ください



場 所：中村れい子事務所 時 間：朝 10 時～昼 12 時まで
別所中の町 3-7 TEL 681-8480/自宅 TEL 685-6686